



KAWASAKI CITY

2007年度

「川崎市多摩川プラン」の推進に関する報告書



2008年(平成20年)3月

川崎市

はじめに

川崎の母なる川・多摩川、この多摩川をより身近な魅力ある空間にするために、2007年（平成19年）3月に「川崎市多摩川プラン」が策定され、本年度はその実行1年目です。多摩川プランが目指す「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」は、川崎市だけでは不可能であり、市民・企業・学校・行政との協働により、達成できるものです。実行1年目となる本年度は、まず多摩川プランに位置づけられたリーディングプロジェクトと重点エリアについて取り組み、着実なスタートダッシュが図れるように努力しました。本報告書は、本年度の取組をまとめ、来年度以降への課題と目標を明らかにする目的で作成しました。多摩川プランの進行管理も重要な施策の一つだからです。

今後、多摩川プランを着実に推進し、市民の生活の中に多摩川を位置づけ、広めていくことが重要です。そのために市民・企業・学校・行政のパートナーシップにより多摩川を育てていくことで、川崎の母なる川・多摩川に恩返しができるように頑張っていきたいと、心から願っております。

2008年（平成20年）3月

川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課



「重点エリア整備構想検討会」の様子



「川崎市多摩川プラン推進会議」の様子

2007 年度
川崎市多摩川プラン推進業務報告書
目 次

1. 2007 年度の推進状況の概要	1-1
2. 基本目標別の推進状況	2-1
2.1 概要	2-1
2.1.1 基本目標Ⅰ. ふるさとの川・多摩川を育む	2-2
2.1.2 基本目標Ⅱ. 多摩川の風景づくり	2-4
2.1.3 基本目標Ⅲ. 市民に身近な多摩川へ	2-5
2.1.4 基本目標Ⅳ. 運動施設の利便性の向上	2-8
2.1.5 基本目標Ⅴ. 子どもの生きる力を育む場の創造	2-9
2.1.6 基本目標Ⅵ. 生命の賑わい豊かな多摩川へ	2-11
2.1.7 基本目標Ⅶ. 参加と協働による川育て	2-13
3. リーディングプロジェクトの推進状況	3-1
3.1 概要	3-1
3.1.1 リーディングプロジェクト1 生命の再生プロジェクト	3-2
3.1.2 リーディングプロジェクト2 川崎っ子プロジェクト	3-3
3.1.3 リーディングプロジェクト3 みんなで行こう多摩川プロジェクト	3-4
3.2 トピックス	3-5
4. 重点エリアの推進状況	4-1
4.1 概要	4-1
4.1.1 2007 年度の実施状況	4-2
4.2 重点エリア整備構想検討会	4-5
4.2.1 重点エリア3 等々力・丸子橋地区周辺エリア	4-5
4.2.2 重点エリア4 上平間・古市場周辺エリア	4-7
5. 川崎市多摩川プラン推進会議の開催状況	5-1
5.1 第1回推進会議	5-1
5.2 第2回推進会議	5-4
6. 2008 年度の推進に向けて	6-1

— <参考資料> —

- 参考資料-1. 推進施策実施状況一覧表…………… 参考 1-1
参考資料-2. 重点エリア 3 等々力・丸子橋地区周辺エリア整備計画図…………… 参考 2-1
参考資料-3. 重点エリア 4 上平間・古市場周辺エリア整備計画図…………… 参考 3-1

1. 2007 年度の推進状況の概要

1. 2007 年度の推進状況の概要

ここでは、2007 年度の推進状況の概要を示します。

◆推進状況

「川崎市多摩川プラン」の実行 1 年目となる 2007 年度は、多摩川プランの基本理念である「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」の実現を目指し、多摩川プランに示された事業を推進しました。

事業には、川崎市が自ら推進する事業と、市民、NPO、企業が自発的な取組で推進する事業、協働で推進する事業があり、多様な主体間の連携によりプランの推進に取り組むことが重要であるため、以下に示す、川崎市多摩川プラン庁内推進会議や重点エリア整備構想検討会等を開催し、意見調整等を図りながら事業を推進しました。

○川崎市多摩川プラン庁内推進会議

川崎市多摩川プランの推進に向けて、多摩川に関する施策の検討と調整、及び関係局の連携強化を目的として、7月と2月に2回開催しました。会議では、多摩川プランで示された全事業の取組状況の確認を行いました。

○重点エリア整備構想検討会

川崎市多摩川プランで重点エリアと位置づけた「等々力・丸子橋地区周辺エリア」及び「上平間・古市場周辺エリア」を整備していくため、周辺地域の皆様や運動施設等の利用者から御意見をいただく検討会を各エリア2回ずつ開催しました。

また、以下に示す川崎市多摩川プラン推進会議を開催し、施策の進行管理と評価を行いました。

○川崎市多摩川プラン推進会議

川崎市多摩川プランに示された施策の進行管理と評価などを行うため、学識経験者、市民、企業、行政機関等による会議を、7月と2月に2回開催しました。なお、推進会議に関する詳細は、5-1で示します。

2. 基本目標別の推進状況

2. 基本目標別の推進状況

ここでは、7つの基本目標別に、2007年度の推進状況を整理して示します。

2.1 概要

基本目標別の主な推進状況を示します。推進状況の詳細については、巻末の参考資料-1「推進施策実施状況一覧表」をご覧ください。

基本目標	推進状況	評価
I. ふるさとの川・多摩川を育む	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川の歴史を記録し、市民に広めていく取組や歴史を学ぶしくみづくりを構築するための取組を進めています。また、多摩川の歴史を活かしたまちづくりを進めています。 全体としては、概ね計画どおり進んでいます。 	○
II. 多摩川の風景づくり	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川の顔となる景観づくり、河原の原風景の保全、桜並木などの復活を進めています。また、まちづくりと一体となった河川景観づくりを進めています。 全体としては、概ね計画どおり進んでいます。 	○
III. 市民に身近な多摩川へ	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川へのアクセスを容易にする総合的なサイン整備やバリアフリー化を進めています。また、トイレ等のアメニティ施設の改善等の整備を進めています。 全体としては、概ね計画どおり進んでいますが、河川空間の新たな利用促進などの事業が進んでいません。 	△
IV. 運動施設の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 運動施設の管理水準の向上を図っています。また、施設の再配置・最適化による運動施設の利便性向上を進めています。 全体としては、概ね計画どおり進んでいます。 	○
V. 子どもの生きる力を育む場の創造	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川での子どもたちの環境学習を推進しています。また、水辺・河原の復権による子どもたちの水辺の遊び場の創出を図っています。 全体としては、概ね計画どおり進んでいます。 	○
VI. 生命の賑わい豊かな多摩川へ	<ul style="list-style-type: none"> 多摩川流域の水と緑の保全・ネットワーク化を図っています。また、市民参加による生物調査等により生物多様性の保全を図っています。 全体としては、概ね計画どおり進んでいますが、河口域における観察ポイントの創出などの事業が進んでいません。 	△
VII. 参加と協働による川育て	<ul style="list-style-type: none"> 市民が集う川の広場としての拠点形成を進めています。また、流域間の連携を図るなど市民参加の川づくりを進めています。 全体としては、概ね計画どおり進んでいます。 	○

評価… ○：概ね計画どおり進んでいる

△：2007年度に対象となる事業がなかったなど、進んでいない推進施策が2つ以上ある

2.1.1 基本目標Ⅰ. ふるさとの川・多摩川を育む

基本目標Ⅰに関する2007年度の主な取組内容を以下に示します。

(1) 多摩川の歴史を記録する

施策 No.	推進施策	2007年度の実施状況
1	歴史的・文化的資源の体系的 収集・保存	○博物館等での歴史的・文化的・自然史的資料の調査、収 集、保存、活用 ○水道史の編集資料の活用
2	水文化の創造と伝承	○博物館等での展示

(2) 歴史を学ぶしくみづくり

施策 No.	推進施策	2007年度の実施状況
3	歴史をテーマとした 学習会等の開催	○流域セミナー等の開催 ○高津市民館市民自主学級「もっと知ろう川崎を」の開催 ○博物館等での学習会の開催

(3) 多摩川の歴史を活かす

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
4	「ふるさと資産・遺産」の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○多摩川やその周辺の資産や産業遺産を活かすことなど、自主的なまちづくりの支援 ○NP0 法人多摩川エコミュージアムとの協働事業の推進 ○「川崎区宝物ガイドマップ」及び「かわさき産業ミュージアムガイドブック」の配布及び情報発信 ○二子橋親柱の移転保存についての検討 ○丸子の渡し復活イベントの実施 ○NP0 法人かわさき歴史ガイド協会主催の企画ガイドを支援 ○ペーパークラフト「六郷川鉄橋を渡る汽車と渡し舟」の作成・配布 ○渡し場跡の碑の整備（7箇所） ○多摩川ウォークの開催
5	二ヶ領用水を活かしたまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○二ヶ領用水沿いにおける街なみ景観のルールづくりを目指す住民発意による主体的なまちづくり活動の支援による、水辺空間を活かした街づくりの推進 ○地域緑化推進地区の働きかけ ○ふるさとの川モデル事業区間の整備工事の実施 ○町田堀の整備事業の実施 ○円筒分水本体の補修工事の実施 ○円筒分水ウィーク（見学会、講演会、展示会）の実施 ○円筒分水スプリングフェスタの開催

2.1.2 基本目標Ⅱ．多摩川の風景づくり

基本目標Ⅱに関する2007年度の取組内容を以下に示します。

(1) 多摩川見所づくり

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
6	花のある川づくりの推進	〈対象事業なし〉
7	多摩川のビューポイントの整理・活用	○「市内景観スポット見て歩きバスツアー」の実施 ○景観フォーラムの実施 ○多摩川ウォークの実施

(2) 河原風景の保全・桜並木などの復活

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
8	河原風景の保全・桜並木などの復活	○河原の景観を構成する植物の保全や、植物遷移に委ねていく場所の検討について草刈等の維持管理において配慮 ○桜などの植樹について国のスーパー堤防整備事業において協議 ○幸区船着場眺望公園（多摩川見晴らし公園）に桜を植樹 ○大師河原1丁目公園に松を植樹 ○緑化協議を伴う民間開発の誘導 ○市民団体の活動の支援 ○塩浜周辺地区における民間開発の誘導

(3) まちと川で生み出す風景へ

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
9	多摩川景観形成ガイドラインの策定	○多摩川景観形成ガイドラインの策定
10	川の修景	○新規に設置する簡易水洗トイレの色彩等について配慮

2.1.3 基本目標Ⅲ. 市民に身近な多摩川へ

基本目標Ⅲに関する 2007 年度の実施内容を以下に示します。

(1) 川への道しるべ、総合的サイン計画の展開

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
11	総合的なサイン計画の推進	○「(仮称) 多摩川サイン計画」策定に向けた準備
12	川への案内、川からの案内の整備	○川崎市バスにおける車内アナウンスを実施

(2) 川へのアクセス、バリアフリーとユニバーサルデザインの推進

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
13	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	○スロープの整備など、人と川のふれあい対策事業の推進 ○緑地施設などの坂路、階段などの計画的な整備
14	アクセスの向上	○スーパー堤防事業と連携した、多摩川緑地と御幸公園が一体的利用が出来るような新たなアクセスの創造について国土交通省及び庁内関係部局等と協議及び連絡調整を実施 ○登戸駅南北自由通路から多摩川側への立体横断施設の設置 ○登戸駅北側交差点から多摩水道橋に至る登戸 2 号線の整備 ○塩浜周辺地区における基盤施設等の整備の誘導 ○多摩川と最寄り駅・近隣道路間の歩行者動線の確保、及びバリアフリー化等の推進 ○多摩川リバーサイド地区構想に基づく基盤施設等の整備の誘導 ○登戸駅からの多摩川へのアクセスの改善について現地調査実施

(3) アメニティの充実

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
15	トイレ環境の改善	○簡易水洗トイレを丸子橋地区と古市場地区に各 1 基整備
16	駐車施設の充実	○瀬田駐車場の拡充（68 台増加） ○利用者負担のあり方について検討 ○重点エリア整備構想検討会において検討
17	休息施設・緑陰樹の設置	○ベンチの設置など、多摩川利用者の休息できる施設の整備

(4) 「川のひろば」の創造

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
18	「川のひろば」・ 「川の一里塚」の整備	○「川の一里塚」の整備について協議

(5) 河川敷の利用ルールづくり、バーベキュー問題の解決

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
19	「利用ルール」づくりと その展開	〈対象事業なし〉
20	バーベキュー問題の解決	○二子橋周辺エリアに関するバーベキュー対策会議を 3 回開催 ○各河川敷占有者とバーベキューによるごみ処理について協議 ○市職員と河川敷パトロール員との連携によるマナー指導を実施

(6) 親水空間、水面利用の促進とさらなる空間利用の推進

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
21	船着場の活用	○多摩川を眺望できる川崎の玄関口としてふさわしい公園「多摩川見晴らし公園」を設計・整備 ○公園整備報告会（10 月 13 日）の開催 ○「かわさき多摩川博 2007」（11 月 17 日）においてワークショップの報告
22	河川空間の新たな利用促進	〈対象事業なし〉
23	未占用地の有効活用	○二子橋下を駐車場として整備 ○重点エリア整備検討会において橋下の利用について検討

(7) 多摩川をみんなのものに・ホームレス問題への対応

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
24	ホームレスの自立支援策の推進	○巡回相談（個別ニーズに対応したきめ細かな相談の実施と施策への結び付け）の実施 ○自立支援施設（宿所、食事及びシャワー等の提供、健康・生活相談、就労支援等）の運営 ○支援者ネットワークの拡大、及び関係機関との連携強化

(8) 安全・安心な川づくり

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
25	治水の強化・防災性の向上	○築堤や護岸の整備など、治水事業による治水安全度の向上への取組 ○計画を上回る規模の洪水が生じた場合にも破堤することのないスーパー堤防事業の推進 ○洪水や震災など、災害時の活動拠点としての大師河原地区河川防災ステーションや震災時における緊急車両の通行路としての緊急用河川敷道路の整備 ○大師河原水防センター開館

2.1.4 基本目標Ⅳ. 運動施設の利便性の向上

基本目標Ⅳに関する2007年度の取組内容を以下に示します。

(1) 利用システムの改善

施策No.	推進施策	2007年度の取組状況
26	利用システム改善に向けた検討	〈対象事業なし〉

(2) 管理水準の向上

施策No.	推進施策	2007年度の取組状況
27	緑地施設の管理水準の向上	○公園施設等補修及び市職員と河川敷パトロール員との連携による維持管理作業を実施 ○附帯設備の充実や用具入れ設置について、重点エリア整備構想検討会において検討
28	サイクリングコースの充実	○利用環境向上に向けた取組実施

(3) 施設の再配置・最適化

施策No.	推進施策	2007年度の取組状況
29	施設の再配置・再整備	○等々力・丸子橋地区周辺エリアと上平間・古市場周辺エリアで、重点エリア整備構想検討会を開催し、再配置・再整備を検討
30	マラソンコースの再整備	○マラソンコースの再整備の手法等について検討 ○コース脇の草刈りと補修を実施

2.1.5 基本目標Ⅴ. 子どもの生きる力を育む場の創造

基本目標Ⅴに関する2007年度の実施内容を以下に示します。

(1) 多様な環境学習・教育の推進、地域・学校の連携

施策No.	推進施策	2007年度の実施状況
31	環境学習、環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○第10期地域環境リーダー育成講座を実施 ○環境教育・学習推進会議を開催 ○平間プールで水生昆虫ふれあい教室を開催 ○二子橋で環境セミナーを開催 ○NPO 法人多摩川エコミュージアムによる環境学習の支援を実施 ○学習拠点となる大師河原水防センターを整備 ○下水道に関する啓発活動として、ホームページによる情報提供、下水道広報誌やパンフレットの配布、出前講座などを実施 ○中原市民館市民自主学級「たのしい環境学習ー水や緑にふれあおう」を開催 ○総合的な学習の中での多摩川についての取組を継続して実施 ○全小学4年生及び全中学1年生に環境副読本を配布 ○環境の現状や環境施設を紹介した「環境情報」の毎月発行
32	水辺の楽校の展開	<ul style="list-style-type: none"> ○水辺の楽校などの活動支援の推進 ○拠点となる大師河原水防センターを開館し、開館式典を実施（12月16日） ○大師河原水防センター運営委員会を設立し、土日祝日の運営を開始

(2) 身近な水辺・河原の復権～子どもたちの遊びの場に～

施策No.	推進施策	2007年度の実施状況
33	「河原の復権」に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ○「河原の復権」プロジェクト検討会議を開催 ○親水性向上のために、平瀬川支川改修工事の実施 ○昔の川遊びなどの調査を実施し、その結果を「かわさき今昔あそびマップ」に掲載 ○子供たちが安全に水に親しめるような河原遊びに適した場所を紹介する「かわさき今昔あそびマップ」を作成

(3) 泳げる川を目指して

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
34	水質の向上、水量の確保	○生活廃水対策に関する指針に基づく指導・助言 ○水質汚濁防止法及び市条例に基づく届出審査、立入調査等による事業者指導 ○工場・事業場の監視・指導の強化 ○生田緑地内の湧水地の保全について、市民ボランティアと協議調整 ○河川水質調査 ○とんもりの谷戸の湧水地整備 ○合併処理浄化槽の設置及び維持管理に関する指導 ○公共下水道接続に向けた指導の推進 ○水洗化工事費の助成・融資制度や啓発活動による水洗化の促進 ○等々力水処理センター高度処理施設 1/3 系列の整備

2.1.6 基本目標VI. 生命の賑わい豊かな多摩川へ

基本目標VIに関する2007年度の実施内容を以下に示します。

(1) 流域の水と緑の保全・創出・ネットワーク化

施策 No.	推進施策	2007年度の実施状況
35	流域における緑地保全	<ul style="list-style-type: none"> ○生産緑地地区の指定等による農地保全の推進 ○「かわさき農の新生プラン」で示された、地産地消の推進や農業の担い手の育成 ○特別緑地保全地区などをはじめとした様々な緑地保全施策の推進 ○保全緑地及び保全された緑地等における市民活動の支援 ○公園緑地、街路樹、グリーンベルト等の適正な維持管理 ○生田緑地、等々力緑地など緑の拠点となる公園緑地の整備推進 ○改定「緑の基本計画」に位置づけ ○保全活動における植生のモニタリングの実施とその活用
36	水系・緑地のネットワーク化	<ul style="list-style-type: none"> ○町田堀の整備事業の実施 ○多摩川ウォーク（宮前区）の実施 ○改定「緑の基本計画」に多摩丘陵軸、多摩川崖線軸のつながりを位置づけ
37	流域における地下水、湧水保全など水循環の回復	<ul style="list-style-type: none"> ○水流実態解明プロジェクトの遂行 ○公園整備（補修、改修を含む）時においては、地下浸透に寄与する植栽地の設置や透水性舗装など、雨水の地下水への還元を配慮した整備方法の検討 ○とんもりの谷戸の湧水地整備
34	水質の向上、水量の確保（再掲）	〈基本目標Vを参照〉

(2) 多摩川河口干潟、汽水域の保全

施策 No.	推進施策	2007年度の実施状況
38	河口域における観察ポイントの創出	〈対象事業なし〉
39	水質、生物、底質の調査	<ul style="list-style-type: none"> ○多摩川河口干潟調査実施 ○多摩川河口魚類調査実施

(3) 環境再生・多自然川づくり

施策 No.	推進施策	2007 年度の取組状況
40	多自然川づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境を保全・回復するための豊かな潤いのある水辺空間づくりを継続して実施 ○小動物の棲みかになる草地の保全を継続して実施 ○鳥類が生息しやすい環境の創出を継続して実施
41	環境に配慮した施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ○配置やデザイン、材料など、環境に配慮した緑地施設や休息施設の整備について、重点エリア整備構想検討会において検討 ○落書き防止のため、新規に設置した簡易水洗トイレにおいてステンレス素材を使用
42	生物に配慮した堰の管理	〈対象事業なし〉

(4) 生き物たちの生命脈わい豊かな川へ（生物多様性の保全）

施策 No.	推進施策	2007 年度の取組状況
43	市民参加による生物調査	○市民参加による、河川水辺の国勢調査等と連携した多種多様な多摩川の生物調査を継続して実施
44	生き物たちの生命脈わい豊かな川へ (生物多様性の保全)	○アユの経年観察・調査を目的とした「多摩川鮎再生調査事業」を実施し、たまがわアユイベントを3回（春・夏・秋）開催（P. 3-5 参照）

2.1.7 基本目標Ⅶ. 参加と協働による川育て

基本目標Ⅶに関する2007年度の実施内容を以下に示します。

(1) 多摩川をまちの広場に

施策 No.	推進施策	2007年度の実施状況
45	コンサートの開催や水辺の文化活動の推進	○多摩川夕涼みコンサートの開催 ○たまりバーサイドミュージックフェスタの開催
11	総合的なサイン計画の推進(再掲)	〈基本目標Ⅲを参照〉
12	川への案内、川からの案内の整備(再掲)	
13	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進(再掲)	
14	アクセスの向上(再掲)	

(2) 市民・企業・学校・行政の協働

施策 No.	推進施策	2007年度の実施状況
46	多摩川エコミュージアムプランの推進	○多摩川の持つ資源を活かし、市民・企業・学校・行政それぞれがもてる機能を発揮しながら、地域に立脚し、地域から発信するまちづくりの推進
47	地域連携イベントの開催	○高津区こどもフェアを多摩川新二子橋下周辺にて開催 ○多摩川ハーフマラソン大会実施 ○多摩川美化活動の実施、及び他のイベントとの同時開催について検討 ○美化活動推進のため、愛護活動団体への支援を実施
48	多様な主体を支えるシステムづくり	〈対象事業なし〉
49	協働型事業の実施	○「かわさき多摩川博2007」における「ふるさと資産・遺産」、「丸子の渡し復活事業」等を市民団体と協働実施

(3) 市民参加の川づくり

施策 No.	推進施策	2007年度の実施状況
50	仮称「多摩川プラン推進会議」の設立	○「川崎市多摩川プラン推進会議」の設立、2回開催

(4) 企業の参加促進

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
51	企業と育む環境づくり	○企業の社会的責任（CSR）の考え方に基づき行われている多様な活動を、より多くの市民に知ってもらうための情報発信 ○企業が多摩川の川づくりにより参加できるようなシステムづくりの検討

(5) 情報共有とサテライトの展開

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
52	総合的な情報共有・受発信	○多様な機会を通じた、情報共有・受発信を継続して実施
53	拠点施設の充実	○大師河原防災ステーションを整備、オープン ○青少年科学館の改築基本計画の策定 ○浮島 1 期地区緑地の整備の検討
54	シンポジウム等の協働開催	○市民等との協働による開催へ向け協議 ○「かわさき多摩川博 2007」の開催

(6) 流域連携と交流の促進、源流と河口をつなぐ

施策 No.	推進施策	2007 年度の実施状況
55	流域懇談会など流域間連携・交流の展開、促進	○多摩川を流域でとらえる「流域思考」の視点による、多摩川全体の環境改善と魅力向上に向けた取組を継続して実施 ○「多摩川流域懇談会」等へ参加

3. リーディングプロジェクトの推進状況

3. リーディングプロジェクトの推進状況

ここでは、リーディングプロジェクトに関する 2007 年度の推進状況を整理して示します。

3.1 概要

リーディングプロジェクトは、川崎市多摩川プランの各推進施策を、先導的に展開するプロジェクトです。このプロジェクトを優先的かつ重点的に実施していくことにより、その成果が広く推進施策全体へ波及し、早期に目標を達成することを目指しています。

● 3つのリーディングプロジェクト

リーディングプロジェクト1 いのち 生命の再生プロジェクト

将来にわたり多摩川の自然豊かな河川環境を継承していきます。

リーディングプロジェクト2 川崎っ子プロジェクト

多摩川の歴史を伝え、子どもたちの環境学習を推進します。

リーディングプロジェクト3 みんなで行こう多摩川プロジェクト

誰もが行きたくなる魅力的な多摩川を目指します。

3.1.1 リーディングプロジェクト1 生命の再生プロジェクト

リーディングプロジェクト1の主な推進状況を示します。

推進内容（実施事業）	2007年度スケジュール	推進状況	評価
多自然川づくりの推進	事業実施	・自然環境を保全・回復するための豊かな潤いのある水辺空間づくりを継続して実施	○
小動物の棲みかになる草地の保全	事業実施	・小動物の棲みかになる草地の保全を継続して実施	○
鳥類が生息しやすい環境の創出	事業実施	・鳥類が生息しやすい環境の創出を継続して実施	○
アユの経年観察・調査	事業実施	・「多摩川鮎再生調査事業」を実施し、たまがわアユイベントを3回（春・夏・秋）開催（P.3-5参照）	○
魚類産卵床整備	事業実施	〈対象事業なし〉	△
市民参加による生物調査	事業実施	・市民参加による、河川水辺の国勢調査等と連携した多種多様な多摩川の生物調査を継続して実施	○
総合的な情報共有・受発信	事業実施	・多様な機会を通じた、情報共有・受発信を継続して実施	○
拠点施設の充実	水防センターオープン	・大師河原水防センターを整備、オープン	○
流域間連携・交流の展開・促進	事業実施	・多摩川を流域でとらえる「流域思考」の視点による、多摩川全体の環境改善と魅力向上に向けた取組を継続して実施 ・「多摩川流域懇談会」等へ参加	○

評価… ○：概ね計画どおり進んでいる

△：2007年度に対象となる事業がなかったなど、進んでいない事業がある

3.1.2 リーディングプロジェクト2 川崎っ子プロジェクト

リーディングプロジェクト2の主な推進状況を示します。

推進内容（実施事業）	2007年度 スケジュール	推進状況	評価
環境学習、環境教育の推進	事業実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第10期地域環境リーダー育成講座を実施 ・ 環境教育・学習推進会議を開催 ・ 平間プールで水生昆虫ふれあい教室を開催 ・ 二子橋で環境セミナーを開催 ・ NPO 法人多摩川エコミュージアムによる環境学習の支援を実施 ・ 学習拠点となる大師河原水防センターを整備 ・ 下水道に関する啓発活動として、ホームページによる情報提供、下水道広報誌やパンフレットの配布、出前講座などを実施 ・ 中原市民館市民自主学級「たのしい環境学習－水や緑にふれあおう」を開催 	○
学校教育における多摩川の環境学習のあり方検討	調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の中での多摩川についての取組を継続して実施 	△
水辺の楽校3校目（干潟の楽校）のオープン	設立準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点となる大師河原水防センターを開館し、開館式典を実施（12月16日） ・ 大師河原水防センター運営委員会を設立し、土日祝日の運営を開始 	○
「河原の復権」プロジェクトの推進	調査・検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「河原の復権」プロジェクトの検討会議を開催 ・ 親水性向上のために、平瀬川支川改修工事の実施 	○
「河原マップ」の作成	作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昔の川遊びなどの調査を実施し、その結果を「かわさき今昔あそびマップ」に掲載 ・ 子供たちが安全に水に親しめるような河原遊びに適した場所を紹介する「かわさき今昔あそびマップ」を作成 	○
渡し場復活イベントの開催	開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丸子の渡し復活イベントの実施 	○
渡し場跡の碑等の整備	事業実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡し場跡の碑の整備（7箇所） ・ ペーパークラフト「六郷川鉄橋を渡る汽車と渡し舟」の作成・配布 	○
「散策こみち」の整備	調査・検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩川ウォークの開催 ・ NPO 法人多摩川エコミュージアムとの協働事業の推進 	○

評価… ○：概ね計画どおり進んでいる

△：2007年度に対象となる事業がなかったなど、進んでいない事業がある

3.1.3 リーディングプロジェクト3 みんなで行こう多摩川プロジェクト

リーディングプロジェクト3の主な推進状況を示します。

推進内容（実施事業）	2007年度 スケジュール	推進状況	評価
桜並木などの復活	事業実施	<ul style="list-style-type: none"> ・桜などの植樹について国のスーパー堤防整備事業において協議 ・幸区船着場眺望公園（多摩川見晴らし公園）に桜を植樹 ・大師河原1丁目公園に松を植樹 	○
総合的なサイン計画の検討、展開	調整	<ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称)多摩川サイン計画」策定に向けた準備 	○
川への案内、川からの案内の整備	調整	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市バスにおける車内アナウンスを実施 	○
幸区船着場周辺の整備	公園の 設計・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川を眺望できる川崎の玄関口としてふさわしい公園「多摩川見晴らし公園」を設計・整備 ・公園整備報告会（10月13日）の開催 ・「かわさき多摩川博2007」（11月17日）においてワークショップの報告 	○
簡易水洗トイレの計画的整備	事業実施	<ul style="list-style-type: none"> ・丸子橋地区と古市場地区に各1基整備 	○
駐車施設の充実	調整	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬田駐車場の拡充（68台増加） ・利用者負担のあり方について検討 ・重点エリア整備構想検討会において検討 	○
「利用ルール」づくりとその展開	調査	〈対象事業なし〉	△
バーベキュー問題の解決	調査・検討	<ul style="list-style-type: none"> ・二子橋周辺エリアに関するバーベキュー対策会議を3回開催 ・各河川敷占有者とバーベキューによるごみ処理について協議 ・市職員と河川敷パトロール員との連携によるマナー指導を実施 	○
緑地施設の管理水準の向上	事業実施	<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設等補修及び市職員と河川敷パトロール員との連携による維持管理作業を実施 	○
運動施設の利用環境の向上	調査・検討	<ul style="list-style-type: none"> ・附帯設備の充実や用具入れ設置について、重点エリア整備構想検討会において検討 	○
施設の再配置・再整備	調整	<ul style="list-style-type: none"> ・等々力・丸子橋地区周辺エリアと上平間・古市場周辺エリアで、重点エリア整備構想検討会を開催し、再配置・再整備を検討 	○

評価… ○：概ね計画どおり進んでいる

△：2007年度に対象となる事業がなかったなど、進んでいない事業がある

3.2 トピックス

ここでは、今年度実施したリーディングプロジェクトのトピックスとして、生命の再生プロジェクトの「アユの経年観察・調査」の概要を紹介します。

(1) 概要

生命の再生プロジェクトの「アユの経年観察・調査」として、市民参加による、多摩川における自然回復のシンボルとも言えるアユの生態調査を、春・夏・秋の3回実施しました。

1) たまがわアユイベント第1弾（春）

■開催日時：2007年（平成19年）4月30日（月）

■場所：調布取水堰周辺

■参加者：約80名（市民）

■テーマ：「和船に乗ってアユを見よう！！」

■当日の内容：

- 海から多摩川の上流へ移動（遡上）している若いアユを観察しました。
- 参加者は漁協の方が用意して下さった和船に乗り、調布取水堰や東京都が設置しているアユ調査用の定置網などを見学しました。
- アユの観察では、水槽に入れられた4～8cmの遡上稚アユを見学しました。



2) たまがわアユイベント第2弾（夏）

■開催日時：2007年（平成19年）8月25日（土）

■場所：ニヶ領せせらぎ館周辺

■参加者：約80名（市民）

■テーマ：「昔ながらのアユの漁法を見てみよう！！」

■当日の内容：

- 漁協の方に投網や釣りによるアユ漁の説明や実演をしてもらうとともに、鵜匠による鵜飼いの実演を行いました。
- タッチングプールで、多摩川で獲れたアユに直接触れました。また、アユの胃内容物を展示し、アユが川でどんなものを食べているのかを観察しました。
- 最後にアユの試食を行いました。



3) たまがわアユイベント第3弾（秋）

■開催日時：2007年（平成19年）11月25日（日）

■場所：ニヶ領せせらぎ館周辺

■参加者：約20名（市民）

■テーマ：「アユの卵を見てみよう！！」

■当日の内容：

- 多摩川でのアユの産卵場所や受精から孵化までの卵の成長について説明しました。
- 当日の朝に川から集めてきた砂利の中からアユの卵を探しました。
- 見つけた卵はルーペや顕微鏡でも観察しました。



4. 重点エリアの推進状況

4. 重点エリアの推進状況

ここでは、重点エリアに関する 2007 年度の推進状況を整理して示します。

4.1 概要

重点エリアは、主要交通機関のアクセスポイントから至近に位置し、人が集まりやすく、施設資源や環境資源も豊富に存在し、今後の事業波及効果が期待される地域です。そのため、多摩川プランでは、身近な「川のひろば」として、アクセスやサイン、トイレ、水飲み場等の施設整備を総合的に進めていく地域として、以下の 6 つのエリアを位置づけています。

各重点エリアにおける主な推進施策

重点エリア	主な推進施策
重点エリア 1 ニヶ領せせらぎ館 周辺エリア (多摩区)	◎渡し場跡の碑等の整備 ★ニヶ領せせらぎ館の機能強化 ★環境学習の推進 △アクセス改善 (階段・坂路等整備)
重点エリア 2 二子橋周辺エリア (高津区)	◎駐車場拡充 ★緑地再整備 (整地・芝はり等) ★アクセス改善 (階段整備)
重点エリア 3 等々力・丸子橋地区 周辺エリア (中原区)	◎トイレ改善 ◎★渡し場跡の碑等の整備・復活イベント開催 ★△緑地・運動広場の再整備・再配置 ★駐車場拡充
重点エリア 4 上平間・古市場周辺エリア (中原区・幸区)	◎トイレ改善 ★△緑地・運動広場の再整備・再配置 △駐車場拡充
重点エリア 5 幸区船着場周辺エリア (幸区・川崎区)	◎眺望公園整備
重点エリア 6 大師河原周辺エリア (川崎区)	◎渡し場跡の碑等の整備 ◎★水防センターの市民協働運営 ★桜並木等整備 ★水辺の楽校 3 校目の設立支援 △緑地・運動広場の再整備

◎：2007 年度実施

★：新実行計画期間 (2008 年度～2010 年度) に実施

△：2011 年度以降に実施

4.1.1 2007 年度の取組状況

重点エリア1 ニヶ領せせらぎ館周辺エリア（多摩区）

主な推進施策	2007 年度の取組状況
<ニヶ領せせらぎ館関連> ・ニヶ領せせらぎ館の充実 ・高水敷の活用 ・アユの経年観察・調査	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川に関する情報発信拠点であるニヶ領せせらぎ館の管理運営を委託している NPO 法人多摩川エコミュージアムと協働で様々なイベントを実施 ・8月12日に、ニヶ領せせらぎ館周辺の高水敷を活用し、夕涼みコンサートを開催 ・8月25日に、「たまがわアユイベント第2弾（夏）」として、鶴匠による鶴飼いの実演など、昔ながらのアユの漁法を学ぶ勉強会を開催（P.3-6 参照） ・11月25日に、「たまがわアユイベント第3弾（秋）」として、アユの卵の観察会を開催（P.3-7 参照）
<渡し場関連>	<ul style="list-style-type: none"> ・「登戸の渡し」の渡し場跡に碑を整備
<アクセス改善関連>	<ul style="list-style-type: none"> ・登戸駅南北自由通路から多摩川側への立体横断施設の整備が完了し、多摩川へのアクセスが格段に向上 ・登戸駅北側交差点から多摩水道橋に至る登戸2号線の整備推進 ・登戸駅からのアクセス改善対策として、堤防付近における階段・坂路や横断歩道の設置など、具体的な事業化に向けた現地調査を実施

重点エリア2 二子橋周辺エリア（高津区）

主な推進施策	2007 年度の取組状況
<二子橋周辺エリア再整備関連> ・駐車施設の充実 ・橋梁下の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・二子橋周辺エリア再整備工事を実施 ・東急田園都市線二子橋下を有効活用し、駐車場を拡充 ・駐車台数の増加を図り、既設駐車場の再整備を実施 ・エリア周辺の施設案内板と、川の適正な利用とマナーの向上を図る利用案内板を各1基設置
<トイレ環境の改善>	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬田地区において基盤整備の終了に伴い水洗トイレを5基設置し、供用を開始ことによりトイレ環境が大幅に改善（川崎市の多摩川緑地における初の水洗トイレ整備）
<バーベキュー対策関連>	<ul style="list-style-type: none"> ・バーベキュー問題の解決へ向け、関係機関とバーベキュー対策会議を3回開催

重点エリア3 等々力・丸子橋地区周辺エリア（中原区）

主な推進施策	2007年度の実施状況
<施設の再配置・再整備関連>	・重点エリア整備構想検討会を2回開催し、整備計画を策定（P.4-3参照）
<渡し場関連>	・「丸子の渡し」で渡し場復活イベントを開催 ・「丸子の渡し」の渡し場跡に碑を整備
<トイレ環境の改善>	・丸子橋地区において簡易水洗トイレを1基整設置し、供用を開始
<魚類の観察・調査>	・4月30日に、「たまがわアユイベント第1弾（春）」として、和船に乗ってアユ調査用の定置網などの見学会を開催（P.3-5参照）
<その他>	・等々力の桜並木の維持管理を実施 ・とどろき水辺の楽校の支援 ・他の占有者と占有地の使用について協議

重点エリア4 上平間・古市場周辺エリア（中原区・幸区）

主な推進施策	2007年度の実施状況
<施設の再配置・再整備関連>	・重点エリア整備構想検討会を2回開催し、整備計画を策定（P.4-3参照）
<トイレ環境の改善>	・古市場地区において簡易水洗トイレを1基整設置し、供用を開始

重点エリア5 幸区船着場周辺エリア（幸区・川崎区）

主な推進施策	2007年度の実施状況
<眺望公園の整備>	・多摩川を眺望できる川崎の玄関口としてふさわしい公園として「多摩川見晴らし公園」を整備
<桜並木などの復活>	・幸区船着場眺望公園（多摩川見晴らし公園）に桜を植樹

重点エリア6 大師河原周辺エリア（川崎区）

主な推進施策	2007 年度の取組状況
<大師河原水防センターの整備>	・ニヶ領せせらぎ館に続く 2 番目の情報発信拠点として、大師河原水防センターが完成し、開館 ・水防センター運営委員会を設立し、土日祝日の運営を実施 ・大師河原 1 丁目公園に松を植樹
<渡し場関連>	・「大師の渡し」と「羽田の渡し」の渡し場跡に碑を整備

4.2 重点エリア整備構想検討会

ここでは、2007年度の取組として、2地区で各2回開催した「重点エリア整備構想検討会」の概要を示します。検討会で作成した整備計画図は、巻末の参考資料-2、参考資料-3をご覧ください。

■検討会の概要

●検討会の目的

重点エリアにおける施設の再配置・最適化にあたって、河川敷の利用者や地域住民の方々の意見、要望等を考慮し、適切な施設の整備計画を作成することです。

●メンバー構成

幸区町内会連合会、中原区町内会連絡協議会、各区まちづくり推進委員、幸区多摩川河川敷グラウンド管理運営委員会、川崎野球協会、川崎市サッカー協会、川崎市陸上競技協会、川崎市ソフトボール協会、川崎市ラクビーフットボール協会、川崎市多摩川プラン策定市民会議委員、公募委員

4.2.1 重点エリア3 等々力・丸子橋地区周辺エリア

重点エリア3での検討会の概要を示します。

1) 第1回検討会

■開催日時：2007年（平成19年）11月20日（火） 19:00～20:30

■場所：中原区役所5階501会議室

■参加者：14名

■テーマ：重点エリア整備構想（案）を検討する

■当日のプログラム：

- ・ 主催者挨拶
- ・ 自己紹介
- ・ 重点エリア整備構想検討会について
- ・ 整備計画（案）の説明
- ・ 意見交換



2) 第2回検討会

■開催日時：2008年（平成20年）1月23日（水） 19：00～20：30

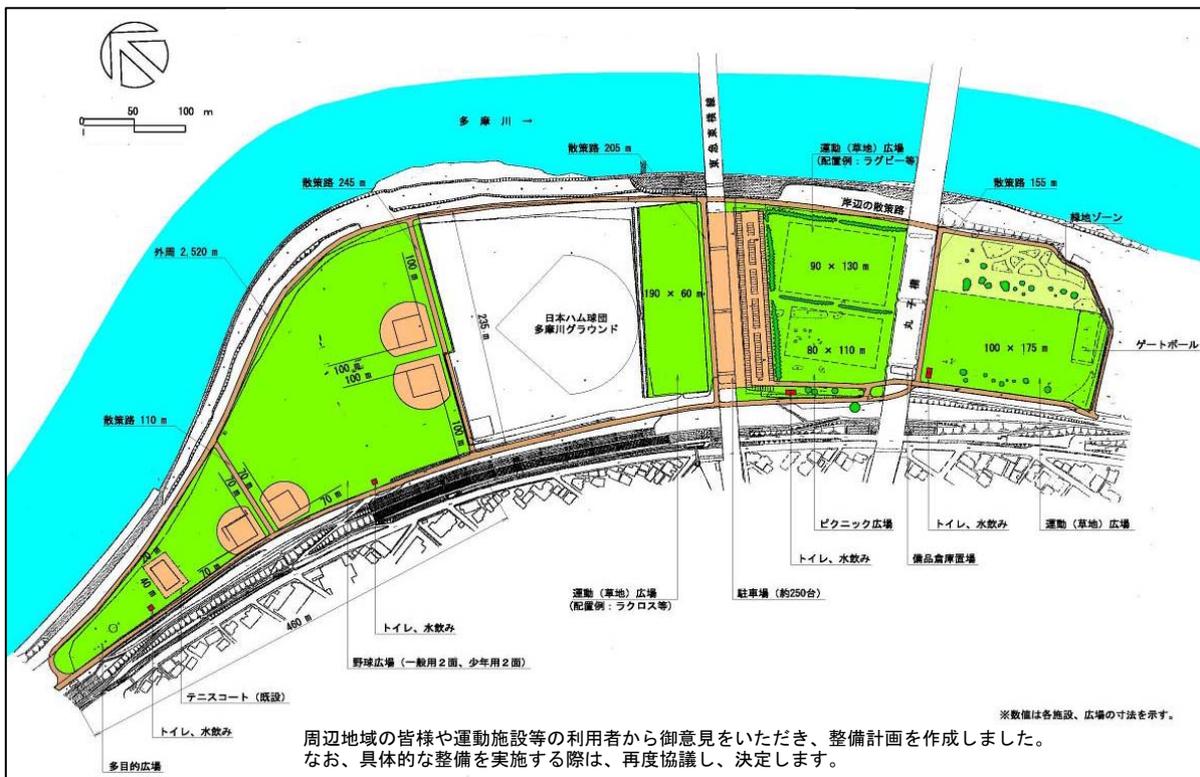
■場所：中原区役所5階503会議室

■参加者：14名

■テーマ：重点エリア整備構想（案）を検討する

■当日のプログラム：

- ・ 主催者挨拶
- ・ 整備計画（修正案）の説明
- ・ 意見交換



整備計画図 一等々力・丸子橋地区周辺エリアー

4.2.2 重点エリア4 上平間・古市場周辺エリア

重点エリア4での検討会の概要を示します。

1) 第1回検討会

■開催日時：2007年（平成19年）11月14日（水） 19：00～20：30

■場所：幸区役所5階第1会議室

■参加者：14名

■テーマ：重点エリア整備構想（案）を検討する

■当日のプログラム：

- ・ 主催者挨拶
- ・ 自己紹介
- ・ 重点エリア整備構想検討会について
- ・ 整備計画（案）について
- ・ 意見交換



2) 第2回検討会

■開催日時：2008年（平成20年）1月24日（木） 19：00～20：30

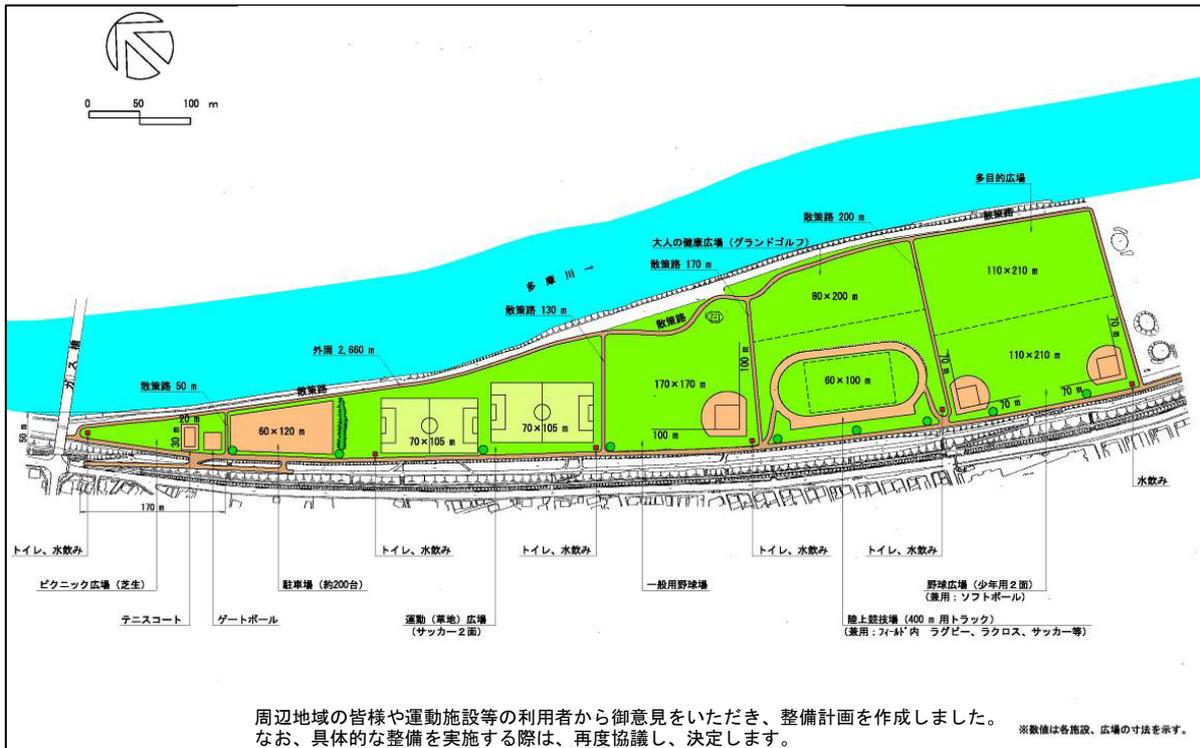
■場所：幸区役所プレハブ会議室

■参加者：12名

■テーマ：重点エリア整備構想（案）を検討する

■当日のプログラム：

- ・ 主催者挨拶
- ・ 自己紹介
- ・ 整備計画（修正案）の説明
- ・ 意見交換



整備計画図 一上平間・古市場周辺エリア

5. 川崎市多摩川プラン推進会議の開催状況

5. 川崎市多摩川プラン推進会議の開催状況

ここでは、2007年度に2回開催した「川崎市多摩川プラン推進会議」の概要を示します。

●推進会議の目的

川崎市多摩川プランに示された施策の進行管理と評価などを行うことです。

●メンバー構成

学識経験者、市民、企業、行政機関等に所属する10名によって構成されています。

5.1 第1回推進会議

第1回推進会議の概要を示します。

■開催日時：2007年（平成19年）7月17日（火）13：40～15：30

■場所：川崎市役所第3庁舎18階大会議室

■参加者：10名

■議事内容：

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 市長あいさつ

○ お礼の挨拶の後、多摩川プランを実施するための以下の3つの方針を説明しました。

- (1) リーディングプロジェクトの実施
- (2) 多摩川の拠点である重点エリアの設定
- (3) 市民・企業・学校・行政の協働による多摩川プランの推進



4. 委員紹介、事務局紹介

進士 五十八	東京農業大学 教授
山道 省三	NPO 法人多摩川センター 代表理事
鈴木 研司	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 所長
北島 信夫	NPO 法人多摩川エコミュージアム 代表理事
河崎 庄吾	河崎組建設業株式会社 取締役
安原 晃紀	公募
福田 利雄	公募
櫻木 進	公募
亀田 多喜	公募
青木 昌夫	公募

5. 多摩川プラン推進会議設置要綱の確認

6. 委員長、副委員長の選出

- 委員長に進士五十八氏（東京農業大学 教授）、副委員長に北島信夫氏（NPO 法人多摩川エコミュージアム 代表理事）が選出されました。

7. 議事 –多摩川プランの推進について–

- 多摩川プランの推進について、以下のことを説明しました。
 - (1) 川崎市の取り組みについて
 - (2) その他

8. 意見交換

(進士委員長)

- ・ 多摩川プランのポイントは、10年前に策定されたが局地的な活動であったエコミュージアムプランを、川崎市地域全域に広げるということと、今まで中心的に活動してきた人たちだけではなく、130万人の川崎市民に活動の輪を広げること。また、多摩川推進課という専属の課を設け、多摩川プランを牽引することで、全庁を挙げて川崎市民のために進めていこうとしている。
- ・ 推進会議の役割は事業の進行管理だが、委員の方々には行政で気が付かないような、生活者の視点でも色々ご提案いただきたい。また、イベント等に参加いただき、参加された感想やご意見、ご提案を、会議の場だけでなく直接事務局にメールなどで伝えていただきたい。

(鈴木委員)

- ・ 多摩川では、落書きやバーベキュー等、自分の都合だけで川を使う人がいる。そのような人たちへの教育を行っていくことも、プロジェクトに取り入れて行えると良いと思う。

(河崎委員)

- ・ 川崎市内の12社が集まり、「多摩川協力会議」を設立した。具体的には、清掃活動を行ったり、国土交通省のイベントに参加したりしている。

(山道委員)

- ・ 自然再生事業には、企業が多く参画している。
- ・ 市民参加で行う多摩川の調査を「自然を多摩川に戻す」という意識づけを行ったうえで実施することが重要。また、サイン計画を作成する際にも、目指すべき目標など、明確なコンセプトを示すことが大切。

(櫻木委員)

- ・ 多摩川沿川の市民だけでなく、それ以外の市民への広報が重要。

(進士委員長)

- ・ 計画の全体像を市民に示した後に、本質を示す必要がある。

(青木委員)

- ・ 対岸である東京都とも連携を図って事業を進めてほしい。

(安原委員)

- ・ 民間と同じように、定量的な指標を設定して、事業の進捗状況を示してほしい。
- ・ 広報活動が不足していると感じる。沿川住民でさえ多摩川での活動をほとんど知らない状況にある。

(福田委員)

- ・ 水質改善に対する具体的な内容が不明確。
- ・ バーベキューの受益者負担についての検討が必要。
- ・ 川でのマナーを啓発する人をせせらぎ館に常駐させてはどうか。
- ・ 多摩川に関する便利な情報を揃えて、アピールする。

(亀田委員)

- ・ バーベキューを予約性にするなど、管理が必要ではないか。

(北島副委員長)

- ・ バーベキュー対策は、早急に検討する必要がある。

9. 閉会

以上



5.2 第2回推進会議

第2回推進会議の概要を示します。

■開催日時：2008年（平成20年）2月21日（木）13：00～14：45

■場所：川崎市役所第3庁舎18階大会議室

■参加者：9名

■議事内容：

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 趣旨説明・出席者紹介

4. 議事 ー多摩川プランの推進についてー

○ 多摩川プランの推進について、以下のことを説明しました。

(1) 多摩川プランの推進状況・今後の取組

- ・川崎市
- ・NPO 法人多摩川エコミュージアム
- ・京浜河川事務所

(2) その他

5. 意見交換

(山道委員)

- ・ 多摩川プランの理念はよいが、どう具体化していくかという中で、多摩川らしさというものを自らの手で復元していくというようなことが大切。このようなものが一つでもあると将来に期待が持てる。近年、少子化で学校の統廃合が進められている。川崎市の現状はよくわからないが、このような跡地に多摩川のグランドなどのスポーツ施設を移転し、河川敷の再配置・再整備を自然風景の復元という視点で進めて頂きたい。
- ・ 多摩川エコミュージアムは、全国のモデルにもなっている。「ふるさと資産・遺産の活用」については、多摩川リバーミュージアム構想にも位置づけされており、市民参加型の科学的な調査・研究をもっと進めるべきである。長島さんが取り組んでいる「散策こみち」などはよい例だ。調査・情報収集など市民が参加できる形で進めた方がよい。
- ・ 大師河原水防センターなどの施設については、運営するお金や人材をどう育てていくかなどが課題。9月の台風9号の洪水の時に、自転車が多摩川を見て回ったが、二ヶ領せせらぎ館が閉まっていた。このようなときこそ、二ヶ領せせらぎ館や水防センターなどを開館し、洪水のメカニズムや避難情報などについて情報提供したほうがよい。特に大師河原水防センターは水防のための施設であるので、日ごろの情報発信が大切であり、そのような運営が大切ではないか。

(進士委員長)

- ・ 川の怖さを実感するのは洪水時なので、川の怖さや水防の大切さを市民に理解してもらおうよい機会だと思う。
- ・ 多摩川プランの推進について、大まかな事業の一覧表を作成して、○△×などで達成度を表示し、進捗状況を分かるようにするのはどうか。1枚で見せるようにすればわかりやすい。当初計画をクリアしたのかどうか分かる。また、年度予算についても、何が増えて、何が減ったかわかるとよい。進捗状況は、市、京浜河川事務所、NPOな

どセクター別に作成し、うまく進んだ成功例、うまく進まなかった失敗例を各部署で検証し、改善策を推進会議で議論してはどうか。

- ・ このために、新たに会議の資料を作るのではなく、そのときある既存の資料を配布する程度でよい。

(福田委員)

- ・ 次回以降は、できるだけ資料を事前に送って頂きたい。
- ・ 私は、「川が良くなる＝水がきれいになる」と思っているが、水質調査はどのように行っているのか。結局、水がきれいにならないとダメだと思っているので。

(京浜河川事務所 柳澤(関係者の出席))

- ・ 各基準点で定期的に行っている。結果はホームページで公開している。二ヶ領せせらぎ館にも置くようにする。

(青木委員)

- ・ BOD や COD だけではなく、表示方法として、生物などを利用し、どのような生物がいるのできれいだとかにすると分かりやすい。

(進士委員長)

- ・ 山道委員の意見は、今あるものを再整備していくのではなく、「自然な川を復元していく」といった理念を忘れてはいけないということ。自然にもどすということは哲学みたいなので、多摩川プランではそのような趣旨を述べていても、重点エリアの整備計画になると、野球場やトイレはどうするかなど個別の話になってしまう。このような整備計画を検討するときでも常に意識するべきである。

(北島副委員長)

- ・ 水質については、BOD、COD という数値も大切だが、泳げるかどうかなど子供たちにも理解できる方法で公表すべき。泳げないなら泳げない理由を明らかにしておく必要がある。

(安原委員)

- ・ 広報活動をもっと積極的に行った方がよい。なぜなら、行政や NPO が様々な活動をしているのに、市民にはあまり認知されていない。市民が情報をつかめる機会を増やしてもらいたい。
- ・ 多摩川プランの進捗状況を管理するには、モニタリングすることになる。モニタリング手法をしっかりと確立し、事業を進めていくべき。
- ・ 川崎市、国、企業、NPO などの事業実施主体を明確にした方がよい。川崎市、国、企業、NPO が何をやっているのか、わかるようにする必要がある。プロセスの可視化とでもいべきだろうか。何でこのような施策ができたのかわかるようにする必要がある。

(進士委員長)

- ・ 市のホームページで情報提供はどうか。「多摩川の今」というようなページはないのか。ないのであれば、市民参加が前提である多摩川プランにおいては、予算を確保して事業の実施内容などを市民に情報発信していくべき。資料にあるように、現在、「渡し場跡の碑」の設置を検討しているといったことを情報発信すればよい。

(青木委員)

- ・ 施策の進捗状況は数値化しにくいと思うが、事業が進んでいるのか、遅れているのかの状況を、要因を整理して把握しておけば分かりやすい。進まない理由が知りたいし、

それを多摩川プラン推進会議で話し合いたい。

- ・ 昨年の台風による被害の整備費用と対策について教えていただきたい。河川敷の整備（洪水後の復旧等）の財政負担は、国と市でどのようになっているのか。

（事務局）

- ・ 国の管理地は国が整備し、市の占用地については市が整備している。

（亀田委員）

- ・ ホームレス対策をしっかりと行ってほしい。
- ・ 散歩する方が多いので、歩きやすいように草刈りの回数を増やしてほしい。
- ・ 高齢者のために、グランドゴルフを行える場所を確保してほしい。
- ・ 多摩川の利用者の中には、その他、現状維持でよいという意見や桜を植えてくれという意見もある。

（事務局）

- ・ ホームレスについては、富士見公園の施設に移ってもらえるように対応している。また、福祉課でも指導・パトロールを行っているが、なかなかうまくいかないのが現状なので、引き続き根気よく対処していく必要がある。
- ・ 草刈は、多摩川の管理をする直営の組織と外部委託との2本柱で取組んでおり、以前に比べ良くなっていると思う。
- ・ グランドゴルフについては、草地を多く整備していく予定なので、そこを利用して頂ければと思う。

（櫻木委員）

- ・ 菅からガス橋まで自転車で見てみた。ホームレスは住みよいところに住んでいると実感した。
- ・ 渡しの碑については、菅の渡し跡については、菅町会誌にあるように立派な石碑を建てている。このようなものは、市がやるのではなく、地域住民が自発的に整備することが望ましい。登戸の渡しなどは、柏屋のおやじなんか整備するのがよい。市民がやらないとだめ。
- ・ いろいろな施策を進めるのは良いが、箱物とかグランド整備に偏るのではなく、多摩川の川というものを大切にすることが必要。私も多摩川で泳いだ。昭和30年代には体に油が付くようになり、だめになった。現在の子どもは、川で泳がず、プールで泳ぐ。水辺というものを大切に、水辺の保存についても考慮すべき。
- ・ 水質データは、環境局の公害部局にあるので、データをうまく使うことが必要。

（京浜河川事務所 柳澤（関係者の出席））

- ・ 今後も、イベント等の活動をNPO中心に行い、市民などと連携しながら、多摩川のよさをアピールしていきたい。
- ・ ニヶ領せせらぎ館は拠点施設として、充実させていきたい。
- ・ 多摩川全域で、ホームレスの数は900名以上いる。ホームレス自立支援法というものがあ、強制退去のようなことはできないが、年々増加しており、国としても何らかの対策を行ってほしい。

（山道委員）

- ・ 定住的なホームレスも多いようなので、何らかのルールを作る必要がある。

(進士委員長)

- ・ ホームレス対策は、福祉政策の問題であり、ホームレスのモラルの問題でもある。永遠の課題ではあるが、行政に頼るのではなく、市民主導の取り組みが大切ではないか。

(山道委員)

- ・ 泳ぐことについては、日野市の浅川で河川プールを作った。泳げるか泳げないかという判断は難しく、厚生労働省の水浴場の基準も大腸菌群数によるものだったりするが、「泳げるか、泳げないか」は「泳ぐか、泳がないか」という自分自身の意志によって決まるものだと思う。また、多摩川プランの目標は、市民が自由に泳げる川になることだと思うので、それに向けた施策展開が重要。裸にならないで泳ぐこともできる。

(北島副委員長)

- ・ まさに個人的な目標は、多摩川で水泳大会を開催し、大人と子どもと一緒に泳ぐことである。
- ・ 重点エリアの整備については、グランドなど人工的な川のイメージが強いが、自然を感じるイメージも必要ではないか。自然エリアの重点エリアもあっていい。

(進士委員長)

- ・ 多摩川においては自然再生が求められている。都市自然再生のモデルとして取り組み、それが多摩川から発信することを期待する。そのためには、市からの積極的な情報提供が必要で、多様な情報を市民に提供することが必要である。これらを市にお願いしたい。それによって、市民の賛同も得られるのではないか。

6. 閉会

以上



6. 2008 年度の推進に向けて

6. 2008年度の推進に向けて

ここでは、2008年度における多摩川プランの取組予定を示します。

(1) 「川崎再生フロンティアプラン 第2期実行計画」期間の主な取組

2008年度からの3か年を計画期間とする、「川崎再生フロンティアプラン 第2期実行計画（2008～2010年度）」に位置づけられている多摩川プランに関する主な取組を以下に示します。

- 多摩川における並木の復活事業
 - ・大師河原周辺エリアへの植樹
 - ・国のスーパー堤防や沿川市街地整備等にあわせた関係者との協議による並木の創出
- 多摩川景観形成推進事業
 - ・多摩川景観形成ガイドラインを活用した景観デザイン誘導等
 - ・河口域から都心域を中心に重点施策エリアの景観形成方針・ルールを作成、運用
 - ・重点地区モデルケースの検討、実施
 - ・多摩川景観形成ガイドラインの周知
- 公害研究所環境学習事業
 - ・市民や学校等に対する体験型環境教育・学習事業の推進
- 多摩川エコミュージアムプラン推進事業
 - ・ニヶ領せせらぎ館等を活用したNPO等との協働
 - ・多摩川鮎再生事業、「ふるさと資産・遺産」活用事業など
- 水辺の楽校新校設立支援事業
 - ・水辺の楽校（かわさき、とどろき）2校の支援（宿河原、等々力）
 - ・市内3校目の水辺の楽校の設立準備、設立（大師河原）
 - ・水防センターの管理運営
- 多摩川プラン推進事業
 - ・多摩川プラン推進会議の運営
 - ・二子橋周辺エリア整備
 - ・等々力・丸子橋地区周辺エリア整備
 - ・上平間・古市場周辺エリア整備
 - ・簡易水洗トイレ設置
 - ・マラソンコース整備
 - ・施設利用にあたっての利用者負担のあり方検討
- 多摩川へのアクセス向上事業
 - ・河川敷へのアクセス環境の整備
- 多摩川緑地維持管理事業
 - ・河川敷の維持管理
 - ・運動施設の整備
 - ・利用者マナー向上に向けた河川敷パトロール

-
- 多摩川を活用したスポーツ大会開催事業
 - 多摩川スポーツ施設関連事業

(2) 2008 年度における主な取組

「川崎再生フロンティアプラン 第2期実行計画（2008～2010 年度）」に位置づけられている取組の中でも、2008 年度に重点的に取り組む内容を以下に示します。

- 重点エリアの運動施設・緑地・駐車場の再整備
 - ・野球場や多目的広場の再整備・再配置、駐車場拡充（等々力・丸子橋地区周辺エリア）
 - ・簡易水洗トイレの配備
- 多摩川緑地・運動施設の維持管理水準の向上
- マラソンコースの整備（一部未舗装区間）・改修
- 総合的サイン計画の策定
- 多摩川エコミュージアムプランの推進

(3) その他の取組

2007 年度に対象となる事業がなかったなど、進んでいない取組については、その原因を分析し、2008 年度以降に計画的な推進を図っていきます。

また、その他の取組については、巻末の参考資料-1「推進施策実施状況一覧表」をご覧ください。

參考資料

参考資料-1. 推進施策実施状況一覧表

推進施策実施状況一覧表 (1/10)

施策No.	推進施策	推進内容(実施事業)	リーディングプロジェクト	平成19年度の取組状況	平成20年度の取組予定
1. ふるさとの川・多摩川を育む					
1	歴史的・文化的資源の体系的収集・保存	・歴史的・文化的資源の体系的収集・保存 ・資料の提供や支援			
		既存 ○博物館等での歴史的・文化的・自然史的資料の調査、収集、保存、活用		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存 ○水道史の編集資料の活用		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
2	水文化の創造と伝承	・水文化に関する検証 ・学習会やイベントの開催 ・多様な機会を通しての情報発信			
		既存 ○博物館等での展示		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
3	歴史をテーマとした学習会等の開催	・各種の学習会等の開催支援			
		既存 ○流域セミナー等の開催		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存 ○市民館等の地域課題の解決に向けた市民との協働による学習会・イベント等の実施		高津市民館市民自主学級「もっと知ろう川崎を」の開催	・未定〈市民からの提案でテーマが決定するため〉
		既存 ○博物館等での学習会の開催		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
4	「ふるさと資産・遺産」の活用	・「ふるさと資産・遺産」の活用			
		既存 ○多摩川やその周辺の資産や産業遺産を活かすことなど、自主的なまちづくりの支援		・《既存事業の継続実施》 ・NPO法人多摩川エコミュージアムとの協働事業の推進	・NPO法人多摩川エコミュージアムとの協働事業の推進
		既存 ○川崎河港水門など市が管理する地域資源の保存及びガイドマップによる紹介		・「川崎区宝物ガイドマップ」及び「かわさき産業ミュージアムガイドブック」の配布及び情報発信 ・二子橋親柱の移転保存についての検討	・「川崎区宝物ガイドマップ」及び「かわさき産業ミュージアムガイドブック」の配布及び情報発信 ・二子橋親柱の移転保存についての検討
		・渡し場復活イベントの開催			
		新規 ○市民発意のイベント開催として進められる多摩川の歴史を彩る風景であった「渡し場の復活」の支援	川崎っ子プロジェクト	・丸子の渡し復活イベントの実施	・丸子の渡し復活イベントの実施
		既存 ○市民発意の街道イベントの総合的支援		・NPO法人かわさき歴史ガイド協会主催の企画ガイドを支援	・NPO法人かわさき歴史ガイド協会主催の企画ガイドを支援
		・渡し場跡の碑等の整備			
		新規 ○古くから人々の生活の一部として存在していた渡し場を後世に伝えるための取組の推進	川崎っ子プロジェクト	・ペーパークラフト「六郷川鉄橋を渡る汽車と渡し舟」の作成・配布 ・渡し場跡の碑の整備(7箇所)	・未定 ・渡し場跡の碑の整備【平成21年度まで】
		・「散策こみち」の整備			
		新規 ○多摩川やそこに隣接する市街地の自然、歴史・文化・産業遺産などを活かしながら、回遊する散策路の設定・整備		・多摩川ウォークの開催 ・NPO法人多摩川エコミュージアムとの協働事業の推進	・NPO法人多摩川エコミュージアムとの協働事業の推進
既存 ○「かわさきみどりの遊歩道」における多摩川の散歩道の設定	川崎っ子プロジェクト	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
既存 ○市内の歴史、文化、生活遺産等を知っていただくための、9ルートの「川崎歴史ガイド」発行、及び約160の川崎歴史ガイドパネルの設置		《既存事業の継続実施》	《継続実施》		

参考資料-1. 推進施策実施状況一覧表

推進施策実施状況一覧表 (2/10)

施策No.	推進施策	推進内容(実施事業)	リーディングプロジェクト	平成19年度の実施状況	平成20年度の実施予定
5	二ヶ領用水を活かしたまちづくりの推進	・川崎の骨格をつくってきた二ヶ領用水が築いてきた伝統や文化、景色を活かしたまちづくりの推進			
		既存 ○二ヶ領用水沿いにおける街なみ景観のルールづくりを目指す住民発意による主体的なまちづくり活動の支援による、水辺空間を活かした街づくりの推進		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存 ○地域緑化推進地区の働きかけ		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存 ○親水化の推進及び沿川各地域活動の支援		・ふるさとの川モデル事業区間の整備工事(平成18年度繰越し工事)の実施 ・町田堀の整備事業の実施	・ふるさとの川モデル事業区間の整備工事の実施(都市計画道路整備事業にて整備)【平成20年度完成予定】 ・町田堀の整備事業の実施
		既存 ○円筒分水周辺の環境整備の総合的な取組、及び円筒分水施設本体の保存		・円筒分水本体の補修工事の実施 ・円筒分水ウィーク(見学会、講演会、展示会)の実施 ・円筒分水スプリングフェスタの開催	・円筒分水周辺の環境整備工事 ・円筒分水スプリングフェスタの開催 ・円筒分水お掃除プロジェクトの開催
II. 多摩川の風景づくり					
6	花のある川づくりの推進	新規 ○「花づくり推進地区」の設定など緑のボランティアセンター等と連携し、自主管理花壇用地の造成や確保		《対象事業なし》	※
		新規 ○植栽管理方法のアドバイスなどの取組		《対象事業なし》	※
7	多摩川のビューポイントの整理・活用	新規 ○川崎市域における多摩川流域の眺めの良い場所など景観を楽しむポイントの情報整理・活用		・「市内景観スポット見て歩きバスツアー」の実施 ・景観フォーラムの実施 ・多摩川ウォークの実施	※
8	河原風景の保全・桜並木などの復活	・河原風景の保全	みんなで行こう多摩川プロジェクト		
		新規 ○河原の景観を構成する植物を保全		・草刈等の維持管理において配慮	・草刈等の維持管理において配慮
		新規 ○植物遷移に委ねていく場所の検討		・草刈等の維持管理において配慮	・草刈等の維持管理において配慮
		・桜並木などの復活			
		新規 ○国のスーパー堤防事業や公園づくりなどにあわせて、桜などの植樹事業の展開		・スーパー堤防整備事業における協議 ・幸区船着場眺望公園において桜の植栽 ・大師河原1丁目公園において松の植樹	・スーパー堤防整備事業における協議 ・大師河原周辺エリアへの植樹
		既存 ○緑化協議を伴う民間開発の誘導		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存 ○市民団体の活動の支援		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
既存 ○塩浜周辺地区における民間開発の誘導	《既存事業の継続実施》	《継続実施》			
9	多摩川景観形成ガイドラインの策定	既存 ○多摩川沿川における良好な景観形成を推進するための(仮)多摩川景観形成ガイドラインの作成		・多摩川景観形成ガイドラインの策定	・多摩川景観形成ガイドラインの運用 ・重点地区の設定
10	川の修景	新規 ○多摩川の魅力ある水や緑の自然環境や広い空間はもとより、そこにある人工構造物などをも資源として、多摩川ならではの景観づくりへの取組		・新規に設置する簡易水洗トイレの色彩等について配慮	・多摩川景観形成ガイドラインの運用

※…現在検討中

参考資料-1. 推進施策実施状況一覧表

推進施策実施状況一覧表 (3/10)

施策No.	推進施策	推進内容(実施事業)	リーディングプロジェクト	平成19年度の取組状況	平成20年度の取組予定		
III. 市民に身近な多摩川へ							
11	総合的なサイン計画の推進	・総合的なサイン計画の検討、展開	みんなで行こう多摩川プロジェクト	・「(仮称)多摩川サイン計画」策定に向けた準備	・「(仮称)多摩川サイン計画」の策定		
		新規 ○多摩川に馴染む統一的なデザインを用いることによる、多摩川緑地の施設案内など利用者ニーズにあった情報の提供					
12	川への案内、川からの案内の整備	・川への案内、川からの案内の整備	みんなで行こう多摩川プロジェクト	・川崎市バスにおける車内アナウンスを実施	※		
		新規 ○利用者の回遊性に考慮した、主要交通機関から多摩川へ、また多摩川から主要交通機関への案内の整備					
13	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	・お年寄りや身体の不自由な方が安全かつ容易に訪れることが出来るようなスロープやトイレ、水飲み場などの整備 ・バリアフリー化やユニバーサルデザインの考え方に基づく主要交通機関から主要な動線の整備					
		既存 ○スロープの整備など、人と川のふれあい対策事業の推進				《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存 ○緑地施設などの坂路、階段などの計画的な整備				《既存事業の継続実施》	《継続実施》
14	アクセスの向上	・多摩川へ行きやすくするための取組 ・川をより身近に感じるための散策路などの整備					
		既存 ○スーパー堤防事業と連携した、多摩川緑地と御幸公園が一体的利用出来るような新たなアクセスの創造				・国土交通省及び庁内関係部局等と協議及び連絡調整を実施【平成23年度整備完了予定】	・国土交通省及び庁内関係部局等と協議及び連絡調整を実施【平成23年度整備完了予定】
		既存 ○登戸駅南北自由通路から多摩川側への立体横断施設の設置				・設置完了	・登戸駅北側(小杉菅線)の歩道整備【平成20年度完了】
		既存 ○登戸駅北側交差点から多摩水道橋に至る登戸2号線の整備				・一部道路(水路部分)の拡幅 ・用地取得、整備	・一部道路の拡幅【平成22年度まで】 ・事業推進
		既存 ○塩浜周辺地区における基盤施設等の整備の誘導				《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存 ○多摩川と最寄り駅・近隣道路間の歩行者動線の確保、及びバリアフリー化等の推進				・用地取得、整備	・二ヶ領せせらぎ館付近歩道のカラー化【平成22年度まで】 ・事業推進
		既存 ○多摩川リバーサイド地区構想に基づく基盤施設等の整備の誘導、及びスーパー堤防事業の市の窓口としての調整				《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存 ○登戸駅からの多摩川へのアクセスの改善				・具体的な事業化に向けた現地調査実施	※
		既存 ○岸辺の散策路のさらなる推進				《既存事業の継続実施》	《継続実施》
15	トイレ環境の改善	・簡易水洗トイレの計画的整備	みんなで行こう多摩川プロジェクト	・丸子橋河川敷と古市場河川敷に各1基整備	・3基整備予定		
		新規 ○利用環境の向上に向けた、簡易水洗トイレの計画的整備					
16	駐車施設の充実	○多摩川を誰もが気軽に訪れることができるとともに運動用具の搬入等を考慮した駐車場整備の検討	みんなで行こう多摩川プロジェクト	・瀬田駐車場拡充(68台増加) ・重点エリア整備構想検討会において検討	※		
		新規 ○既存駐車場を含めて利用者負担の原則と適正な管理のため、有料化を視野に入れた取組		・瀬田駐車場拡充にあわせて検討		・丸子橋駐車場の拡充について検討	

※…現在検討中

参考資料-1. 推進施策実施状況一覧表

推進施策実施状況一覧表 (4/10)

施策No.	推進施策		推進内容（実施事業）	リーディングプロジェクト	平成19年度の実施状況	平成20年度の実施予定
17	休息施設・緑陰樹の設置	既存	○ベンチや緑陰樹の設置など、多摩川利用者の休息できる施設の整備		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
18	「川のひろば」・「川の一里塚」の整備	新規	○スーパー堤防事業や堤防改修事業、重点エリアの整備などと連携した、憩えるスポットとしての「川のひろば」、「川の一里塚」の整備推進		・「川の一里塚」の整備について京浜河川事務所と協議	※
19	「利用ルール」づくりとその展開	新規	○誰もが気持ちよく安全に多摩川を満喫できるように、市民が主体となった利用ルールづくり	みんなで行こう多摩川プロジェクト	《対象事業なし》	※
20	バーベキュー問題の解決	新規	○バーベキューのあり方に関する検討	みんなで行こう多摩川プロジェクト	・二子橋周辺エリアに関するバーベキュー対策会議を3回開催 ・各河川敷占有者とバーベキューによるごみ処理について協議 ・市職員と河川敷パトロール員との連携によるマナー指導を実施	※
		新規	○河川敷の利用のマナーやルールの徹底			※
		新規	○上記に関して必要となる施設の検討・整備			※
21	船着場の活用	・幸区船着場周辺の整備		みんなで行こう多摩川プロジェクト	・整備完了 ・公園整備報告会(10月13日)の開催 ・「かわさき多摩川博2007」においてワークショップの報告	
		新規	○多摩川を眺望できる川崎の玄関口としてふさわしい公園整備			
		既存	○公園づくりワークショップの実施			
		・幸区船着場の活用				
		新規	○川の賑わいの拠点などを活用するための検討		《対象事業なし》	※
22	河川空間の新たな利用促進	新規	○オープンカフェの仕組みづくりなど、新たな河川空間の利用促進に向けた検討		《対象事業なし》	※
23	未占用地の有効活用	新規	○低未利用民有地や橋梁下の活用方策の検討や整備による河川空間の有効活用		・二子橋下を駐車場として整備 ・重点エリア整備検討会において橋下の利用について検討	・丸子橋下における駐車場整備に向けての協議
24	ホームレスの自立支援策の推進	・生活実態調査の実施など、自立支援策と連携した、誰もが快適に気持ちよく過ごせる河川空間づくり				
		既存	○巡回相談（個別ニーズに対応したきめ細かな相談の実施と施策への結び付け）の実施		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存	○自立支援施設（宿所、食事及びシャワー等の提供、健康・生活相談、就労支援等）の運営		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存	○支援者ネットワークの拡大、及び関係機関との連携強化		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
25	治水の強化・防災性の向上	・多摩川の治水安全度の向上や災害に備えた取組				
		既存	○築堤や護岸の整備など、治水事業による治水安全度の向上への取組		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存	○計画を上回る規模の洪水が生じた場合にも破堤することのないスーパー堤防事業の推進		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存	○洪水や震災など、災害時の活動拠点としての大師河原地区河川防災ステーションや震災時における緊急車両の通行路としての緊急用河川敷道路の整備		・大師河原水防センター開館	《継続実施》

※…現在検討中

推進施策実施状況一覧表 (5/10)

施策No.	推進施策	推進内容(実施事業)	リーディングプロジェクト	平成19年度の取組状況	平成20年度の取組予定
IV. 運動施設の利便性向上					
26	利用システム改善に向けた検討	新規 ○緑地の運動施設をはじめ、多摩川に関する施設について、誰もが利用しやすい公平なシステムづくりや地域ルールのある方、情報提供のあり方についての検討		〈対象事業なし〉	※
27	緑地施設の管理水準の向上	・緑地施設の管理水準の向上			
		既存 ○誰もが快適に利用できるよう、野球場、サッカー場、陸上競技場などのグラウンド整備や草刈りなど、運動施設の維持管理水準の向上を図るとともに、利用団体等との協働による維持管理の推進	みんなで行こう多摩川プロジェクト	・公園施設等補修及び市職員と河川敷パトロール員との連携による維持管理作業を実施	《継続実施》
		・運動施設の利用環境の向上	みんなで行こう多摩川プロジェクト		
		新規 ○附帯設備の充実や用具入れ設置に向けた取組		・重点エリア整備構想検討会において検討	※
28	サイクリングコースの充実	・延伸等に関する検討			
		新規 ○一部未整備区域の延伸についての課題や、河口部の回遊性の確保等の検討		〈対象事業なし〉	※
		・サイクリングコースの利用環境の向上			
		既存 ○コース上の路面表示の設置など利用環境向上に向けた取組		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
29	施設の再配置・再整備	新規 ○市民の利用ニーズに合わせて、非効率な運動施設の配置や使用されていない施設などの再配置・最適化に努めます。	みんなで行こう多摩川プロジェクト	・等々力・丸子橋地区周辺エリアと上平間・古市場周辺エリアで再配置を検討	・等々力・丸子橋地区周辺エリアの整備
30	マラソンコースの再整備	・再整備の検討			
		既存 ○一部未舗装部分の整備や、老朽化が進みつつあるマラソンコースの再整備の手法等についての検討		《既存事業の継続実施》	・計画的整備の実施(平成25年度まで)
		・マラソンコースの管理水準の向上			
		既存 ○コース脇の草刈りの充実や凹凸等の早期解消への取組		《既存事業の継続実施》	《継続実施》

※…現在検討中

参考資料-1. 推進施策実施状況一覧表

推進施策実施状況一覧表 (6/10)

施策No.	推進施策	推進内容(実施事業)	リーディングプロジェクト	平成19年度の取組状況	平成20年度の取組予定
V. 子どもの生きる力を育む場の創造					
31	環境学習、環境教育の推進	・環境学習、環境教育の推進 フィールド整備や指導者の育成など、多摩川水系における環境学習、環境教育の推進に向けた総合的な取組	川崎っ子プロジェクト		
		既存 ○川崎市環境教育・環境学習基本方針及び事業実施計画に基づく、本市における環境教育・学習の効果的な推進		・第10期地域環境リーダー育成講座を実施 ・環境教育・学習推進会議を開催	・第11期地域環境リーダー育成講座の実施 ・環境教育・学習推進会議の開催
		既存 ○講師の派遣や学習会、イベント等を通しての、行動につながる普及啓発		・平間プールで水生昆虫ふれあい教室を開催	・平間プールで水生昆虫ふれあい教室を開催
		既存 ○研究所の施設を用いたオープンラボや多摩川の水辺などを活かした環境教育・学習の充実・推進、及び市民・NPOや学校における環境保全活動等への支援の推進		・二子橋で環境セミナー〈底生生物〉 ・NPO法人多摩川エコミュージアムによる環境学習の支援(平成18年度35回実施)	・二子橋で環境セミナー〈底生生物〉 ・NPO法人多摩川エコミュージアムによる環境学習の支援(平成18年度35回実施)
		既存 ○人材の育成及び市民に活用される学習拠点の充実		・二子橋で環境セミナー〈底生生物〉 ・大師河原水防センターの整備	・二子橋で環境セミナー〈底生生物〉 ・大師河原水防センターの整備
		既存 ○下水道への理解と関心を高めるための啓発活動		・HP、下水道広報誌、パンフレットの配布、出前講座などの実施	《継続実施》
		既存 ○市民館等の地域課題の解決に向けた市民との協働による学習会・イベント等の実施		・中原市民館市民自主学級「たのしい環境学習ー水や緑にふれあおう」の開催	・未定 〈市民からの提案でテーマが決定するため〉
		・学校教育における多摩川の環境学習のあり方検討			
		新規 ○市内小中学校における多摩川をフィールドにした環境学習のあり方の検討	川崎っ子プロジェクト	〈対象事業なし〉	※
		既存 ○総合的な学習の中での多摩川についての取組		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		・プログラム、テキストの作成 多摩川水系における環境学習のプログラムやテキストを作成			
		既存 ○川崎市環境教育・環境学習基本方針及び事業実施計画の推進		《既存事業の継続実施》	・環境教育・環境学習のテキスト検討
既存 ○小中学生向け環境副読本の発行		・全小学4年生及び全中学1年生に環境副読本を配布	・全小学4年生及び全中学1年生に環境副読本を配布		
既存 ○環境情報の発行(毎月)による環境の現状や環境施策の紹介		・毎月の発行を継続実施	・毎月の発行を継続実施		
32	水辺の楽校の展開	・水辺の楽校の展開			
		既存 ○安全で活動に適した水辺の楽校などのさらなるフィールドづくりと活動支援の推進		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		・水辺の楽校3校目(干潟の楽校)のオープン	川崎っ子プロジェクト	・拠点となる水防センターを開館し、開館式典を実施(12月16日) ・水防センター運営委員会を設立し、土日の運営を実施	※

※…現在検討中

参考資料-1. 推進施策実施状況一覧表

推進施策実施状況一覧表 (7/10)

施策No.	推進施策	推進内容（実施事業）	リーディングプロジェクト	平成19年度の実施状況	平成20年度の実施予定	
33	「河原の復権」に向けた取組	・「河原の復権」プロジェクトの推進	川崎っ子プロジェクト			
		新規 ○川遊びの記録と伝承		・プロジェクトの検討会議を開催	※	
		新規 ○市内流域河川の親水性の向上や場の整備		・平瀬川支川改修工事の実施 ・プロジェクトの検討会議を開催	・平瀬川支川改修工事の実施	
		新規 ○多摩川本川での安全なフィールドづくりと遊びの活動支援などの検討		・プロジェクトの検討会議を開催	※	
		・「河原マップ」の作成	川崎っ子プロジェクト			
		新規 ○昔の川遊びなどの調査		・調査を実施し、結果を「河原マップ」に掲載	※	
新規 ○子どもたちが安全に水に親しめるような河原遊びに適した場所を紹介するマップの作成		・「河原マップ」の作成	※			
34	水質の向上、水量の確保	・子どもが安心して水に親しめるための、水質改善に向けた取組				
		既存 ○生活廃水対策に関する指針に基づく指導・助言	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○水質汚濁防止法及び市条例に基づく届出審査、立入調査等による事業者指導	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○工場・事業場の監視・指導の強化	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○生活排水対策の推進、湧水地の保全、地下水の涵養、雨水流出抑制、維持用水の導入	・生田緑地内の湧水地の保全について、市民ボランティアと協議調整 ・河川水質調査 ・とんもりの谷戸の湧水地整備	・生田緑地内の湧水地の保全について、市民ボランティアと協議調整 ・河川水質調査 ・緑ヶ丘霊園の湧水地整備		
		既存 ○合併処理浄化槽の設置及び維持管理に関する指導	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○公共下水道接続に向けた指導の推進	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○水洗化工事費の助成・融資制度や啓発活動による水洗化の促進	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
既存 ○高度処理施設の整備、合流式下水道の改善、下水道未整備地区の整備の推進	《既存事業の継続実施（等々力水処理センター-高度処理施設1/3系列の整備（完成予定））》	《継続実施》				
VI. 生命（いのち）の賑わい豊かな多摩川へ						
35	流域における緑地保全	・流域の良好な自然環境を次世代に継承していくため、公園緑地の整備・維持管理や都市農地、多摩川緑地の保全				
		既存 ○生産緑地地区の指定等による農地保全の推進	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○「かわさき農の新生プラン」で示された、地産地消の推進や農業の担い手の育成を図る	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○特別緑地保全地区などをはじめとした様々な緑地保全施策の推進	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○保全緑地及び保全された緑地等における市民活動の支援	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○公園緑地、街路樹、グリーンベルト等の適正な維持管理	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○生田緑地、等々力緑地など緑の拠点となる公園緑地の整備推進	《既存事業の継続実施》	《継続実施》		
		既存 ○緑の基本計画の中核を担う施策としての展開	・改定緑の基本計画に位置づけ	・緑の基本計画にて推進		
既存 ○保全活動における植生のモニタリングの実施とその活用	《既存事業の継続実施》	《継続実施》				

※…現在検討中

参考資料-1. 推進施策実施状況一覧表

推進施策実施状況一覧表 (8/10)

施策No.	推進施策	推進内容(実施事業)	リーディングプロジェクト	平成19年度の実績状況	平成20年度の実績予定	
36	水系・緑地のネットワーク化	・多摩川本川、支流、ニヶ領用水、また緑地などによる水と緑のネットワーク化を図り、多摩丘陵との連続性や回遊性の確保				
		既存 ○水路の環境整備による水辺との一体的な空間の創出、及び水と緑のネットワークの形成		・町田堀の整備事業の実施 ・多摩川ウォーク(宮前区)の実施	・町田堀の整備事業の実施 【平成20年度完成予定】	
		既存 ○緑の基本計画の中核を担う施策としての展開(多摩丘陵軸、多摩川崖線軸のつながりを確保)		《既存事業の継続実施》 ・改定緑の基本計画に位置づけ	《継続実施》 ・緑の基本計画にて推進	
37	流域における地下水、湧水保全など水循環の回復	・流域を中心とした一連の水の流れの過程における、人間社会の営みと環境の保全に果たす水の機能の適切なバランス確保				
		既存 ○水流実態解明プロジェクトの遂行		《既存事業の継続実施》	《継続実施》	
		既存 ○公園整備(補修、改修を含む)時においては、地下浸透に寄与する植栽地の設置や透水性舗装など、雨水の地下水への還元を配慮した整備方法の検討		《既存事業の継続実施》	《継続実施》	
既存 ○湧水池の保全及び市民意識の高揚		・とんもりの谷戸の湧水地整備	・緑ヶ丘霊園の湧水地整備			
34 再掲	水質の向上、水量の確保	・子どもが安心して水に親しめるための、水質改善に向けた取組				
38	河口域における観察ポイントの創出	新規 ○河口域の豊かな自然環境を対象とした観察ポイントなどの創出		〈対象事業なし〉	※	
39	水質、生物、底質の調査	・河口干潟の自然環境保全に向けた、水質・生物・底質の調査				
		既存 ○継続的な調査及び公表の実施		・多摩川河口干潟調査 ・多摩川河口魚類調査	・多摩川河口干潟調査 ・多摩川河口干潟魚類調査(春季)	
40	多自然川づくりの推進	既存 ○自然環境を保全・回復するための豊かな潤いのある水辺空間づくり	生命の再生プロジェクト	《既存事業の継続実施》	《継続実施》	
		既存 ○小動物の棲みかになる草地の保全	生命の再生プロジェクト	《既存事業の継続実施》	《継続実施》	
		既存 ○鳥類が生息しやすい環境の創出	生命の再生プロジェクト	《既存事業の継続実施》	《継続実施》	
41	環境に配慮した施設整備	新規 ○配置やデザイン、材料など、環境に配慮した緑地施設や休息施設の整備		・重点エリア整備検討会において検討	※	
		新規 ○落書きされにくい塗装の推進		・新規に設置する簡易水洗トイレにおいてステンレス素材を使用	※	
42	生物に配慮した堰の管理	既存 ○治水機能とのバランスを踏まえた、生物に配慮した堰の管理の検討		〈対象事業なし〉	〈対象事業なし〉	
43	市民参加による生物調査	既存 ○市民参加による、河川水辺の国勢調査等と連携した多様な多摩川の生物調査	生命の再生プロジェクト	《既存事業の継続実施》	《継続実施》	
44	生き物たちの生命脈わい豊かな川へ(生物多様性の保全)	・アユの経年観察・調査				
		新規 ○市民参加による、多摩川における自然回復のシンボルとも言えるアユの生態調査	生命の再生プロジェクト	・「多摩川鮎再生調査事業」実施	※	
		・魚類産卵床整備				
		新規 ○市民及び近隣自治体と連携した、魚類産卵床づくりへの取組	生命の再生プロジェクト	〈対象事業なし〉	※	

※…現在検討中

参考資料-1. 推進施策実施状況一覧表

推進施策実施状況一覧表 (9/10)

施策No.	推進施策	推進内容(実施事業)	リーディングプロジェクト	平成19年度の取組状況	平成20年度の取組予定
VII. 参加と協働による川育て					
45	コンサートや水辺の文化活動の推進	・多摩川を人々が集い、憩い、交流し、そして楽しむことができるまちの広場とするための、コンサートやイベント、文化活動などの取組による川の賑わいづくり			
		既存 ○演奏する機会の提供		・多摩川夕涼みコンサートの開催 ・たまりバーサイドミュージックフェスタの開催 (共に、二ヶ領せせらぎ館河川敷広場で開催)	・実施予定
11 再掲	総合的なサイン計画の推進	・総合的なサイン計画の検討、展開	みんなで行こう多摩川プロジェクト		
12 再掲	川への案内、川からの案内の整備	・川への案内、川からの案内の整備	みんなで行こう多摩川プロジェクト		
13 再掲	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	・お年寄りや身体の不自由な方が安全かつ容易に訪れることが出来るようなスロープやトイレ、水飲み場などの整備 ・バリアフリー化やユニバーサルデザインの考え方に基づく主要交通機関から主要な動線の整備			
14 再掲	アクセスの向上	・多摩川へ行きやすくするための取組 ・川をより身近に感じるための散策路などの整備			
46	多摩川エコミュージアムプランの推進	既存 ○多摩川の持つ資源を活かし、市民・企業・学校・行政それぞれがもてる機能を発揮しながら、地域に立脚し、地域から発信するまちづくり		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
47	地域連携イベントの開催	・地域連携イベントの開催 ・地域のイベントを通じた多様な連携の育成			
		既存 ○高津区子どもフェアの開催		・多摩川新二子橋下周辺にて実施 ・多摩川ハーフマラソン大会(11月18日、参加者総数4,144人)を実施	・実施予定 ・「かわさき多摩川博2008」(いかだレース)の実施
		既存 ○市民館等の地域課題の解決に向けた市民自主企画事業等における市民との協働		〈対象事業なし〉	・未定 〈市民からの提案でテーマが決定するため〉
		・イベントでゴミ拾いの推進 ・多摩川の美化意識高揚に向けた、様々な機会を通じたゴミ拾いの推進			
		既存 ○実施主体としての多摩川美化活動の継続、及び他のイベントとの同時開催の検討		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
既存 ○美化活動の推進		・愛護活動団体への支援	・愛護活動の実施(二ヶ領用水宿河原線)		
48	多様な主体を支えるシステムづくり	新規 ○沿川の自然環境の再生や景観づくり等における、市民や企業、学校が自主的に進められている活動を支えるためのシステムづくりの検討		〈対象事業なし〉	※
49	協働型事業の実施	新規 ○市民・企業・学校・行政が、多摩川の課題解決、多摩川プランの推進に向けた、協働型事業の推進		・「かわさき多摩川博2007」における「ふるさと資産・遺産」、「丸子の渡し復活事業」等を市民団体と協働実施	※
50	仮称「多摩川プラン推進会議」の設立	新規 ○市民参加による、多摩川プランの進行管理		・「川崎市多摩川プラン推進会議」の設立、開催(2回)	・「川崎市多摩川プラン推進会議」の開催
51	企業と育む環境づくり	既存 ○企業の社会的責任(CSR)の考え方に基づき行われている多様な活動を、より多くの市民に知ってもらうための情報発信		《既存事業の継続実施》	《継続実施》
		既存 ○企業が多摩川の川づくりにより参加できるようなシステムづくり		《既存事業の継続実施》	《継続実施》

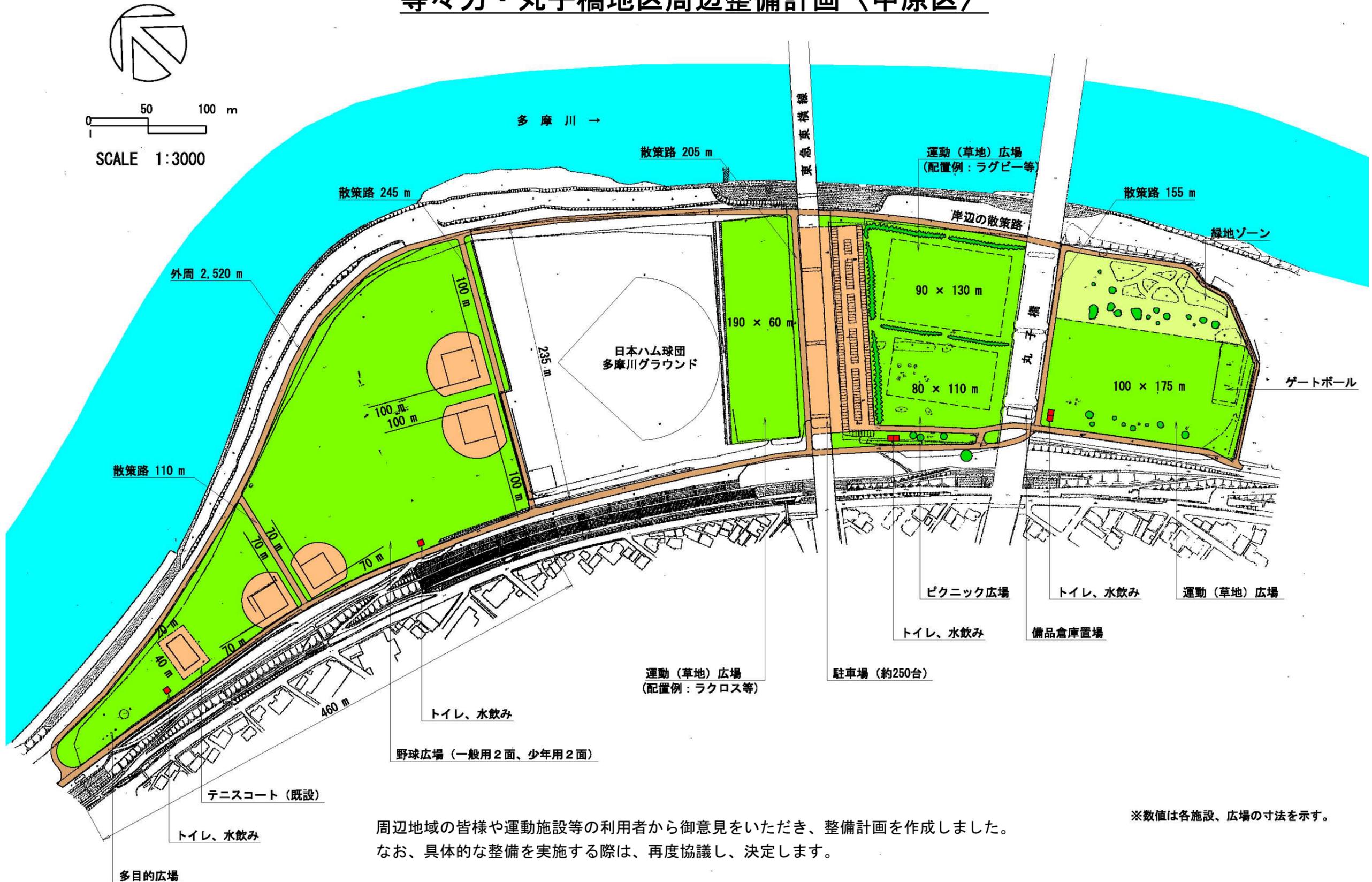
※…現在検討中

参考資料-1. 推進施策実施状況一覧表

推進施策実施状況一覧表 (10/10)

施策No.	推進施策	推進内容 (実施事業)	リーディングプロジェクト	平成19年度の実施状況	平成20年度の実施予定
52	総合的な情報共有・受発信	・総合的な情報共有・受発信	生命の再生プロジェクト		
		既存 ○多様な機会を通じた、情報共有・受発信		・情報発信	・情報発信
53	拠点施設の充実	・情報発信の拠点やサテライトの整備	生命の再生プロジェクト		
		既存 ○ニヶ領せせらぎ館の増築		・整備完了<<既存事業の継続実施>>	
		既存 ○大師河原地区河川防災ステーションの整備の推進		・改築基本計画の策定	・基本設計の実施
		既存 ○青少年科学館の整備の推進		・既存事業の検討の継続	・既存事業の検討の継続
54	シンポジウム等の協働開催	新規 ○市民等との協働による、多摩川に関するシンポジウム等の開催		・協働による開催へ向け協議	・「かわさき多摩川博2008」の開催
		既存 ○多摩川シンポジウムの開催 (ニヶ領用水完成400年記念など)		・「かわさき多摩川博2007」の開催	・「かわさき多摩川博2008」の開催
55	流域懇談会など流域間連携・交流の展開、促進	・流域間連携・交流の展開・促進	生命の再生プロジェクト		
		既存 ○多摩川を流域でとらえる「流域思考」の視点による、多摩川全体の環境改善と魅力向上に向けた取組		・「多摩川流域懇談会」等へ参加<<既存事業の継続実施>>	<<継続実施>>

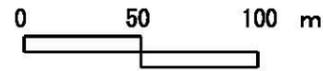
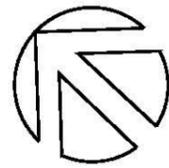
等々力・丸子橋地区周辺整備計画〈中原区〉



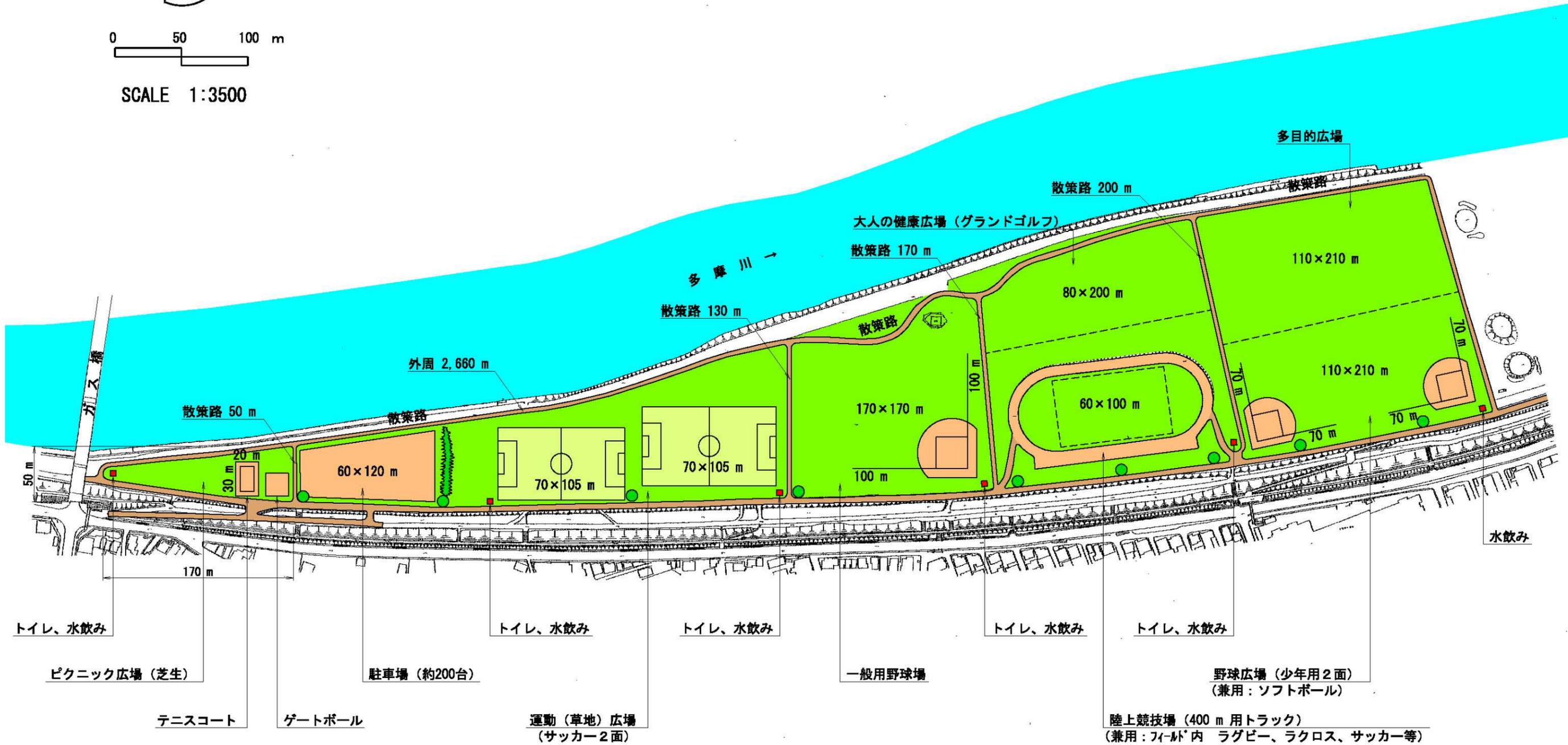
周辺地域の皆様や運動施設等の利用者から御意見をいただき、整備計画を作成しました。
 なお、具体的な整備を実施する際は、再度協議し、決定します。

※数値は各施設、広場の寸法を示す。

上平間・古市場周辺整備計画〈中原区・幸区〉



SCALE 1:3500



周辺地域の皆様や運動施設等の利用者から御意見をいただき、整備計画を作成しました。
 なお、具体的な整備を実施する際は、再度協議し、決定します。

「川崎市多摩川プラン」の推進に関する報告書

2008（平成 20）年 3 月

発 行 / **川崎市**
事 務 局 / 川崎市環境局緑政部
多摩川施策推進課

〒210-8577
川崎市川崎区宮本町 1 番地
TEL : 044-200-2265 FAX : 044-200-3923
E-mail : 30tamasu@city.kawasaki.jp
